

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 平成25年11月11日

【四半期会計期間】 第152期第2四半期(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

【会社名】 美濃窯業株式会社

【英訳名】 MINO CERAMIC CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 太田 滋 俊

【本店の所在の場所】 岐阜県瑞浪市寺河戸町719番地

【電話番号】 (0572)68-2106

【事務連絡者氏名】 取締役・常務執行役員管理部門管掌兼総務部長 中尾 晴一郎

【最寄りの連絡場所】 名古屋市中村区名駅南一丁目17番28号

【電話番号】 (052)551-9221

【事務連絡者氏名】 経理部長 近 藤 啓 介

【縦覧に供する場所】 株式会社名古屋証券取引所
(名古屋市中区栄三丁目8番20号)
美濃窯業株式会社東京支社
(東京都千代田区神田錦町三丁目16番地)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第151期 第2四半期 連結累計期間	第152期 第2四半期 連結累計期間	第151期
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (千円)	3,970,040	4,303,041	8,730,883
経常利益 (千円)	65,728	160,083	249,239
四半期(当期)純利益 (千円)	27,424	99,774	109,579
四半期包括利益又は 包括利益 (千円)	23,070	203,325	248,609
純資産額 (千円)	6,512,935	6,972,377	6,794,980
総資産額 (千円)	10,638,829	11,217,442	11,261,207
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	2.67	9.55	10.67
潜在株式調整後1株当たり四 半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	56.1	56.8	55.1
営業活動によるキャッシュ・ フロー (千円)	427,783	159,588	1,061,042
投資活動によるキャッシュ・ フロー (千円)	299,603	289,825	471,128
財務活動によるキャッシュ・ フロー (千円)	26,754	27,518	86,615
現金及び現金同等物の四半期 末(期末)残高 (千円)	1,746,784	2,425,200	2,322,415

回次	第151期 第2四半期 連結会計期間	第152期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	2.00	6.24

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、デフレ脱却に向けた政府の各種政策や円安の効果などによる輸出の持ち直しと株価上昇を背景に、大企業を中心とした生産の増加などで企業収益が改善し、個人消費も堅調に推移したことにより、景気は緩やかな回復軌道をたどりました。

当社グループを取り巻く経営環境は、主要顧客であるセメント業界においては、復興需要の継続や政府の経済政策による公共投資増加により好調に推移し、また鉱工業生産高や設備投資も回復傾向が続き堅調に推移しました。

このような状況のなか、当社グループは成長企業への転換を図るため、顧客のニーズを的確に捉え、市場競争力を高め、市場および生産環境の変化に機敏に対応できるよう、企業集団の連携を図り、製販連携の最適化を推進しました。また、原燃料価格の高騰による影響を最小限にとどめるため、トータルコストの削減や在庫の適正化にも取り組み、収益確保に努めてまいりました。

この結果、耐火物事業においてはセメント業界の景況が改善したことにより好調に推移しましたが、プラント事業では当社の顧客である業界の設備投資が依然として厳しい環境が続き、苦戦を強いられました。一方、建材及び舗装用材事業は公共投資や民間投資の受注が堅調に推移し、大きな改善を見ることができました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高4,303百万円（前年同四半期比8.4%増）、営業利益146百万円（前年同四半期比606.8%増）、経常利益160百万円（前年同四半期比143.6%増）、四半期純利益99百万円（前年同四半期比263.8%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(耐火物)

主要顧客であるセメント業界の国内販売量は、東北の復興需要及び新政権下での経済政策により、9カ月連続の増加となりましたが、当耐火物事業においては、円安に伴う原燃料価格の上昇による生産コスト増加がマイナス要因として浮上した結果、売上高は1,942百万円（前年同四半期比17.1%増）、セグメント利益は118百万円（前年同四半期は18百万円のセグメント損失）となりました。

(プラント)

海外景気の地合いは徐々に改善しつつあり、国内の設備投資も持ち直しの傾向が続いておりますが、顧客となる企業の設備投資の回復に至らず、当社を取巻く経営環境は依然として厳しいものとなりました。このような状況下、新規開拓を含め、きめ細かな提案型の営業活動を積極的に展開してまいりましたが、売上高は1,236百万円（前年同四半期比14.4%減）、セグメント利益は22百万円（前年同四半期比79.5%減）となりました。

(建材及び舗装用材)

公共投資については、復興需要の継続、緊急経済対策による公共投資の増加などにより、経営環境の回復に向けた兆しが見えてきました。このような状況下、より積極的かつ広範囲な営業活動を展開することに努めた結果、売上高は1,084百万円（前年同四半期比29.6%増）、セグメント利益は24百万円（前年同四半期は13百万円のセグメント損失）となりました。

(不動産賃貸)

本社ビルの一部を始めとする社有不動産の賃貸が主なものであり、売上高は22百万円（前年同四半期比6.6%増）となり、セグメント利益は16百万円（前年同四半期比4.6%増）となりました。

(その他)

主に、外注品等を販売する事業であり、売上高は16百万円（前年同四半期比100.4%増）となり、セグメント利益は2百万円（前年同四半期比62.4%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産の状況)

流動資産は、有価証券が減少したものの、現金及び預金やたな卸資産の増加などにより、全体としては8,129百万円（前連結会計年度末比180百万円増）となりました。固定資産は、長期性預金の減少などにより、全体としては3,088百万円（前連結会計年度末比224百万円減）となりました。その結果、資産合計では、11,217百万円（前連結会計年度末比43百万円減）となりました。

(負債の状況)

流動負債は、支払手形及び買掛金が減少したものの、1年内償還予定の社債の増加などにより、全体としては3,369百万円（前連結会計年度末比232百万円増）となりました。固定負債は、社債の減少などにより、全体としては875百万円（前連結会計年度末比453百万円減）となりました。その結果、負債合計では、4,245百万円（前連結会計年度末比221百万円減）となりました。

(純資産の状況)

純資産は、その他有価証券評価差額金が増加したことなどにより6,972百万円（前連結会計年度末比177百万円増）となり、自己資本比率は56.8%（前連結会計年度末比1.6ポイント増）となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前第2四半期連結累計期間に比べ678百万円増加し、2,425百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は159百万円（前年同四半期は427百万円の獲得）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益171百万円、減価償却費90百万円及び前受金の増加額81百万円であり、支出の主な内訳は、仕入債務の減少額211百万円、たな卸資産の増加額178百万円及び売上債権の増加額106百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は289百万円（前年同四半期は299百万円の使用）となりました。収入の主な内訳は、有価証券の売却による収入339百万円であり、支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出53百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は27百万円（前年同四半期比2.9%増）となりました。支出の主な内訳は、配当金の支払額24百万円であります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は115百万円であります。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	31,960,000
計	31,960,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年11月11日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名 名古屋証券取引所 市場第二部	内容
普通株式	12,909,828	同左		単元株式数は1,000株 であります。
計	12,909,828	同左	-	-

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年9月30日	-	12,909,828	-	877,000	-	774,663

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
日本セラミックエンジニアリング株式会社	東京都千代田区神田錦町三丁目16番地	956	7.40
モノリス株式会社	愛知県半田市亀崎常盤町一丁目13番地	924	7.16
美濃窯業製陶株式会社	岐阜県瑞浪市寺河戸町916番地の3	918	7.11
ミノセラミックス商事株式会社	岐阜県瑞浪市寺河戸町868番地	794	6.15
太田滋俊	愛知県名古屋市長穂区	566	4.38
太平洋セメント株式会社	東京都港区台場二丁目3番5号	510	3.95
株式会社みずほ銀行	東京都千代田区丸の内一丁目3番地の3	465	3.60
株式会社ビョーブライト	岐阜県恵那市山岡町原1532番地の8	418	3.23
株式会社十六銀行	岐阜県岐阜市神田町八丁目26番地	400	3.09
株式会社名古屋銀行	名古屋市中区錦三丁目19番地17号	360	2.78
株式会社大垣共立銀行	岐阜県大垣市郭町三丁目98番地	360	2.78
計	-	6,671	51.63

(注) 日本セラミックエンジニアリング株式会社、モノリス株式会社、美濃窯業製陶株式会社、ミノセラミックス商事株式会社、株式会社ビョーブライトが所有している上記株式については、会社法施行規則第67条第1項の規定により議決権の行使が制限されております。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 23,000 (相互保有株式) 普通株式 4,010,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,791,000	8,791	-
単元未満株式	普通株式 85,828	-	-
発行済株式総数	12,909,828	-	-
総株主の議決権	-	8,791	-

(注) 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の失念株式が1,000株(議決権1個)含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 美濃窯業(株)	岐阜県瑞浪市寺河戸町 719番地	23,000	-	23,000	0.18
(相互保有株式) 日本セラミックエンジニ ヤリング株式会社	東京都千代田区神田錦町 三丁目16番地	956,000	-	956,000	7.40
モノリス株式会社	愛知県半田市亀崎常盤町 一丁目13番地	924,000	-	924,000	7.16
美濃窯業製陶株式会社	岐阜県瑞浪市寺河戸町916 番地の3	918,000	-	918,000	7.11
ミノセラミックス商事株 式会社	岐阜県瑞浪市寺河戸町868 番地	794,000	-	794,000	6.15
株式会社ピョーブライト	岐阜県恵那市山岡町原 1532番地の8	418,000	-	418,000	3.23
計	-	4,033,000	-	4,033,000	31.24

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,445,987	2,729,161
受取手形及び売掛金	3,006,423	3,112,911
有価証券	348,952	110,264
たな卸資産	² 1,746,314	² 1,924,448
その他	405,803	255,784
貸倒引当金	4,407	3,158
流動資産合計	7,949,074	8,129,410
固定資産		
有形固定資産	³ 1,429,157	³ 1,422,758
無形固定資産	71,682	54,498
投資その他の資産		
投資有価証券	1,164,014	1,211,589
その他	665,871	417,253
貸倒引当金	18,593	18,068
投資その他の資産合計	1,811,292	1,610,774
固定資産合計	3,312,132	3,088,031
資産合計	11,261,207	11,217,442
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,655,323	1,443,494
短期借入金	830,000	830,000
1年内償還予定の社債	-	400,000
未払法人税等	47,300	17,600
賞与引当金	203,680	194,910
役員賞与引当金	3,500	2,000
製品保証引当金	23,346	19,425
工事損失引当金	8,028	25,905
その他	366,425	436,535
流動負債合計	3,137,603	3,369,870
固定負債		
社債	400,000	-
退職給付引当金	589,640	565,859
役員退職慰労引当金	233,942	182,149
資産除去債務	44,474	42,373
その他	60,566	84,812
固定負債合計	1,328,623	875,194
負債合計	4,466,226	4,245,065

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	877,000	877,000
資本剰余金	440,309	440,355
利益剰余金	5,294,561	5,369,763
自己株式	590,691	590,758
株主資本合計	6,021,179	6,096,361
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	185,800	276,072
その他の包括利益累計額合計	185,800	276,072
少数株主持分	588,000	599,944
純資産合計	6,794,980	6,972,377
負債純資産合計	11,261,207	11,217,442

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	3,970,040	4,303,041
売上原価	3,231,528	3,389,537
売上総利益	738,511	913,504
販売費及び一般管理費	717,839	767,388
営業利益	20,672	146,115
営業外収益		
受取利息	2,726	3,107
受取配当金	10,610	12,646
補助金収入	33,856	200
その他	6,434	8,672
営業外収益合計	53,627	24,626
営業外費用		
支払利息	7,520	7,369
固定資産除却損	-	2,716
その他	1,050	572
営業外費用合計	8,571	10,658
経常利益	65,728	160,083
特別利益		
固定資産売却益	253	22,707
受取保険金	812	-
その他	-	3,963
特別利益合計	1,065	26,671
特別損失		
投資有価証券評価損	2,214	2,915
減損損失	-	12,390
災害による損失	2,442	-
その他	482	186
特別損失合計	5,139	15,491
税金等調整前四半期純利益	61,655	171,262
法人税、住民税及び事業税	20,788	15,169
法人税等調整額	7,157	45,235
法人税等合計	27,945	60,404
少数株主損益調整前四半期純利益	33,709	110,857
少数株主利益	6,284	11,083
四半期純利益	27,424	99,774

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	33,709	110,857
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	56,780	92,467
その他の包括利益合計	56,780	92,467
四半期包括利益	23,070	203,325
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	28,982	190,045
少数株主に係る四半期包括利益	5,911	13,279

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	61,655	171,262
減価償却費	94,149	90,811
退職給付引当金の増減額(は減少)	9,147	23,781
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	662	51,792
貸倒引当金の増減額(は減少)	9,197	1,773
賞与引当金の増減額(は減少)	8,390	8,770
役員賞与引当金の増減額(は減少)	2,100	1,500
製品保証引当金の増減額(は減少)	5,116	3,921
工事損失引当金の増減額(は減少)	24,364	17,877
受取利息及び受取配当金	13,336	15,753
支払利息	7,520	7,369
売上債権の増減額(は増加)	755,758	106,487
たな卸資産の増減額(は増加)	43,427	178,133
未収入金の増減額(は増加)	1,474	62,339
仕入債務の増減額(は減少)	343,365	211,829
前受金の増減額(は減少)	35,799	81,637
未払消費税等の増減額(は減少)	24,026	11,690
その他	60,384	41,477
小計	458,618	225,612
利息及び配当金の受取額	14,097	17,384
利息の支払額	7,376	4,660
保険金の受取額	10,814	47,687
災害損失の支払額	1,281	-
法人税等の支払額	61,368	42,343
法人税等の還付額	5,356	47,956
その他	8,921	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	427,783	159,588
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	40,007	16,778
定期預金の払戻による収入	4,997	16,743
有価証券の売却による収入	24,008	339,749
有形固定資産の取得による支出	84,678	53,744
投資有価証券の取得による支出	201,048	9,637
その他	2,875	13,493
投資活動によるキャッシュ・フロー	299,603	289,825

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	23,626	24,299
少数株主への配当金の支払額	1,335	1,335
その他	1,792	1,883
財務活動によるキャッシュ・フロー	26,754	27,518
現金及び現金同等物に係る換算差額	14	66
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	101,412	102,785
現金及び現金同等物の期首残高	1,645,372	2,322,415
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,746,784	2,425,200

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
受取手形裏書譲渡高	392,274千円	361,784千円

2 たな卸資産の内訳

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
商品及び製品	726,297千円	757,750千円
仕掛品	109,126千円	138,939千円
未成工事支出金	135,591千円	345,337千円
原材料及び貯蔵品	775,299千円	682,420千円

3 圧縮記帳額

国庫補助金等により有形固定資産の取得価額から控除している圧縮記帳額及びその内訳は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
圧縮記帳額 その他(工具、器具及び備品)	95,309千円	72,031千円

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
荷造包装及び発送運賃	138,794	174,650
貸倒引当金繰入額	2,493	1,248
製品保証引当金繰入額	2,586	3,096
給料手当	174,877	169,713
賞与引当金繰入額	62,061	65,549
役員賞与引当金繰入額	1,400	2,000
退職給付費用	9,712	16,084
役員退職慰労引当金繰入額	8,120	5,052

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	1,820,358千円	2,729,161千円
有価証券勘定	320,287千円	8,834千円
小計	2,140,645千円	2,737,995千円
預入期間が3か月を超える定期預金	82,402千円	312,795千円
償還期間が3か月を超える債券等	311,458千円	-千円
現金及び現金同等物	1,746,784千円	2,425,200千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	32,217	2.50	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年11月9日 取締役会	普通株式	32,215	2.50	平成24年9月30日	平成24年12月11日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	32,215	2.50	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年11月8日 取締役会	普通株式	32,214	2.50	平成25年9月30日	平成25年12月11日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	耐火物	プラント	建材及び 舗装用材	不動産 賃貸	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	1,659,064	1,444,248	836,836	21,540	3,961,689	8,350	3,970,040	-	3,970,040
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	453,217	-	6,489	4,702	464,409	12,266	476,676	476,676	-
計	2,112,281	1,444,248	843,326	26,242	4,426,099	20,617	4,446,716	476,676	3,970,040
セグメント利益 又はセグメント 損失()	18,323	108,388	13,932	15,402	91,534	1,790	93,324	31,669	61,655

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外注事業等を含んでおります。
2 セグメント利益の調整額 31,669千円には、セグメント間取引消去 11,706千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 2,214千円及びたな卸資産の調整額 17,747千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない投資有価証券評価損であります。
3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	耐火物	プラント	建材及び 舗装用材	不動産 賃貸	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	1,942,473	1,236,643	1,084,229	22,957	4,286,303	16,738	4,303,041	-	4,303,041
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	660,322	-	8,991	4,702	674,016	17,916	691,933	691,933	-
計	2,602,795	1,236,643	1,093,221	27,660	4,960,320	34,654	4,994,974	691,933	4,303,041
セグメント利益 又はセグメント 損失()	118,246	22,249	24,408	16,117	181,022	2,906	183,928	12,666	171,262

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外注事業等を含んでおります。
2 セグメント利益の調整額 12,666千円には、セグメント間取引消去 10,806千円、各報告セグメントに配分していない全社費用9,610千円及びたな卸資産の調整額 11,469千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない固定資産売却益等であります。
3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各報告セグメントに配分していない全社資産において遊休資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額したことにより、12,390千円の減損損失を計上しております。

(金融商品関係)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	2円67銭	9円55銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	27,424	99,774
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	27,424	99,774
普通株式の期中平均株式数(千株)	10,257	10,449

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

第152期(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)中間配当については、平成25年11月8日開催の取締役会において、平成25年9月30日の最終の株主名簿に記録された株主に対して、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金総額 32百万円
1株当たりの金額 2円50銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日 平成25年12月11日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月7日

美濃窯業株式会社
取締役会御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 小川 薫 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 加藤 克彦 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている美濃窯業株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、美濃窯業株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。